

自主機能評価指標【河北透析クリニック】

(2018年8月末現在)

評価指標項目	
I. 施設の状況	
1. 施設の設備	
①施設の種別	無床診療所
②ペーシェントステーション台数	透析ベッド用56台、感染室用2台
2. 施設の機能	
①準夜透析の可否(21時以降終了)	不可 (20:00終了)
②早朝透析の可否(8時以前開始)	不可 (8:15開始)
③長時間透析の可否(5時間以上)	可
④オーバーナイト透析の可否 (日をまたがる透析で6時間透析以上)	不可
⑤在宅血液透析の可否	不可
⑥オフラインHDFの可否	可
⑦オンラインHDFの可否	可
⑧CAPDの可否	可 (河北総合病院にて)
⑨シャント手術の可否	可 (河北総合病院にて)
⑩PTAの可否	可 (河北総合病院にて)
⑪障害者自立支援医療機関かどうか	自立支援医療機関である
3. 医療スタッフの現状	
①透析に関わる医師数	常勤医師: 1人 非常勤医師: 7人
②透析医学会会員の医師数	5人
③透析専門医の人数	5人
④透析指導医の人数	1人
⑤透析技術認定士の人数	6人
⑥西東京糖尿病療養指導士の数	1人
4. 組織体制の状況	
①医療安全委員会の有無(災害、感染対策を含む)	ある
②事故報告体制の有無	ある
II. 患者の状況	
①外来HD患者数	186人
②外来PD患者数	5人 (河北総合病院にて)
III. 治療指数(外来透析患者対象)	
①腎性貧血管理(Hb 10.0g/dl以上の比率)	87.6%
②P管理(P 6.0mg/dl以下の比率)	70.2%
③PTH管理(iPTH 240pg/ml以下の比率)	65.1%
④透析時間(4時間以上の患者の比率)	90.3%
⑤透析時間(5時間以上の患者の比率)	0.5%
⑥透析量(Kt/V 1.2以上の比率)	90.6%